

グループホームあおば

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	0	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方々との交流の下で、家庭的な環境と一人一人を大切にす支援を柱に置いた理念を作っている。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示し、職員全員が理念を常に意識した支援の実践ができるよう日々努めている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議等で家族、地域の方に地域の中で生活の大切さを伝え理解して頂けるよう努め取り組んでいる。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外掃、散歩、買物など日々の生活の中で近隣の方との挨拶や声かけを行なっている。町内の方に回覧板を持ってきて頂く等訪問もして頂き日常的なつきあいが出来るよう努めている。	0	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入したことで、地域の夏祭りに利用者・職員が参加、施設の夏祭りに地域の方に参加して頂くなど少しずつ交流の機会を増やし地域とのつながりが持てるよう努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 合 の い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者、地域住民のために貢献できることはないか常に話し合っている。地域の方との交流や、公園の清掃などできることから取り組んでいけるよう努めている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かして、改善点は具体的な改善策を考え取り組むようにしている。外部評価を実施する意義を職員が理解するよう全員で取り組み意見を出すようにしている。	0	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、利用者、家族、地域包括支援センター、地域の方に参加して頂き、サービス内容の報告を行い、参加者の方から意見を頂いている。その意見を職員全員にも伝達し改善することでサービスの向上に努めている。	0	
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターの職員の意見・アドバイスにより地域との関係作りに取り組みサービスの質の向上に努めている。	0	
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見制度については福岡市の研修や福岡県高齢者グループ協議会のブロック研修などに積極的に参加し学んでいる。参加した職員は研修報告書を提出しミーティング時に全職員に研修内容を報告することで全員が制度を理解し必要に応じ活用できるよう努めている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加するなどして学ぶ機会を設けている。また、ミーティングの場でも日頃の行動を見直す機会を設け話し合い虐待防止に取り組んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約の際には利用者・家族に十分に説明を行い、不安、疑問点がないかを尋ね、納得して頂いた上で行なっている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が意見、不満、苦情などを自由に発言できる信頼関係を築くよう努めている。意見、不満などが出た時にはケアカンファ・ミーティングの場で話し合い対応策を職員全員で考えている。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の状態が安定している時には面会時に報告をしているが、体調不良などで気になる事があればその都度電話連絡している。金銭管理は個人ごとの領収証ノートを作成し収支を明確にしている。職員の異動については毎月発行しているホーム便りに掲載し、家族の面会時に紹介する等している。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族より自由に意見・苦情を頂けるよう施設入口付近に記入用紙とボックスを設置している。また、苦情受付機関のポスター等を掲示し利用できることを伝えている。家族より頂いた意見は職員全員で共有しサービスの向上に努めている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回のミーティングには本社総務からの参加があり、職員からでた意見や提案を聞く場となっている。その中で出た意見や提案は運営に活かされている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	外出や通院時の付き添いなど必要な時間帯に職員を確保できるよう勤務調整を行なっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係での支援は大切にしているが異動・離職の際には引継ぎ期間を確保し、利用者・家族に説明している。また、新しい職員が入職した際には利用者とのコミュニケーションが密に図れるよう他職員がフォローしている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	0
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたり性別、年齢、国籍などを理由に排除はしていない。本人の意欲、人間性など介護者としての適正を大切にしている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	内部研修会や行政主催の研修会などに参加し学んだ事をミーティングの場で報告し職員全員で情報を共有する事で人権教育、啓発活動に取り組んでいる。	0	
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体で実施している。外部研修は職員の経験などに応じ参加し質の向上に取り組み研修後は報告会を行い知識や情報を共有している。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県高齢者グループホーム協議会に加入し勉強会や情報交換を行なっている。また、近隣のグループホームと連携を図り運動会の開催やレクリエーションを実施し充実したサービスへの取り組みに努めている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	年末の忘年会、サッカー・野球のチケット配布など余暇活動への支援がある。また、個人カウンセリングにより悩み等を相談する機会がある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	外部研修、資格取得の為に勤務調整を行い支援体制がある。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 1 0 項目・外部評価 2 項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりと その対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前には面接を行いお互いを知る事から始めている。本人の不安を取り除けるような支援、会話の中から感じ取られる感情などを受け止め信頼関係を築くよう努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の申し込み時に家族の悩みや要望を理解し、契約時には家族が求めている事に応えられるよう努めている。常に家族の相談には耳を傾けよい方向へ進んでいけるよう考えている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の話を伺い今必要とされている支援は何か、本人にとって一番いい方法は何かを考えながら相談に応じている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が馴染めるかどうか不安がある場合は体験入居を利用して頂いている。その期間に他利用者、職員と馴染め不安なく生活できるようであればそのまま入居となる。本人が慣れられるまで面会の頻度を多くお願いする等家族にも協力して頂いている。	0	
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	0	
係り2 継続 これ までの 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と一緒に生活する中で昔の風習や知恵を聞き学んでいる。人生の先輩として教えられる事が多く、お互いに労いの言葉を掛け合い学び、支えあう関係を築いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の近況は面会時に報告し様子をお知らせしている。一緒に生活はしていなくても、写真や話の中から場面と一緒に過ごして頂けるよう努めている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の関係が常に良好に保たれるようお互いの立場を理解し支援するよう努めている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	何時でも気軽に面会に来て頂ける環境作りに努め、友人・知人の面会があれば居室で自由に会話されている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人一人の個性を大切に支援を行い、利用者同士が仲良く生活できるよう職員が間に入り関係作りを行なっている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設へ転居や入院により退去になられた方は面会に行きその後の生活を知るように努めている。退去によりサービスは終了しても関係は継続している。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用前に本人、家族から収集した情報を基に希望や意向の把握に努めている。入居後は利用者の担当職員が利用者が求めていることを言葉や行動、表情などで感じ取れるよう努め職員全員で検討している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族から情報収集したものをまとめ職員全員で共有している。これまでの暮らしを把握することで利用者を理解しこれからの支援に繋げていくよう努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の観察を記録に残し職員全員で把握するよう努めている。注意すべき点など日頃と違う状態が見られれば申し送りで伝達している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意向を反映した介護計画作成を行っている。ケアカンファレンス時に課題を検討し話し合い本人本位の介護計画になるよう務めている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間に応じた見直しとともに、状態の変化に応じた見直しを本人、家族等との話し合いの上行っている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人観察記録に日々の生活の様子は記録している。職員は仕事に入る前には記録に目を通し情報を共有するよう努めている。この個人観察記録がケアの実践にも役立っている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	周辺に本社や関連施設がある為、事業所だけで要望に応じられない時には応援体制がある。本人、家族の要望を叶えられるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員を始め必要に応じボランティアなど色々な方に支援し協力をして頂いている。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他施設との情報交換や病院のケアマネージャーとの連携等で本人の意向に添ったサービス支援に努めている。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じ地域包括支援センターに相談し情報やアドバイスを頂きながら協働している。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の意向を確認し協力病院のかかりつけ医だけではなく入居前からのかかりつけ医にも往診をお願いしており適切な医療を受けられるよう努めている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の専門医と連携を取り、認知症に関する職員の勉強会を実施したり利用者が的確な治療を受けられるよう医師との関係を築いている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力病院の訪問看護師に週1回健康観察をお願いしている。また、近隣の関連施設に看護師が従事しているので緊急時には支援を仰いでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には面会に行き看護師より情報収集し状態をかかりつけ医に報告している。病院の相談員とも連携を図り早期退院に向けて医師に相談するなど努めている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合の対応方針の説明を行い同意文書に同意を頂いている。また、本人が安心して生活できる場がどこであるかを本人、家族、かかりつけ医、職員などで常に考え必要時には話し合いをしている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所で可能な限り支援したいができることには限りがあるため、かかりつけ医に相談助言を頂きながら支援に取り組んでいる。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が少しでもダメージを受けることなく生活できるよう、ケア関係者間での情報交換、話し合いを行なうよう努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	0	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	接遇や権利擁護の研修会で学んだ事を活かしたケアの実践に取り組んでいる。個人情報プライバシーを損ねないように注意し取り扱うよう努めている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の意思を尊重し、自己決定を大切にする支援を行なっている。本人の思いが遠慮なく表せる環境作りと職員の対応にも注意している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールはあるが日々の体調、精神状態に合わせケアを行い、一人ひとりのペースを大切にしている。その人らしい生活のために個別ケアの充実も考えている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に訪問理美容があり、本人・家族の希望があれば実施している。身だしなみは起床時に整髪、髭剃りなど支援の必要な方には実施している。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	バランスの良い食事が摂れるよう利用者の希望の入った献立表を作り、食事の準備は利用者と職員で行なっている。誕生会のケーキ作りは利用者にデコレーションをお願いし誕生者を全員でお祝いしている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の好みを大切にした支援を心掛けている。コーヒー、お菓子など本人が喜ばれるものは職員も把握しており日々の楽しみになるよう努めている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表の活用、本人の訴えに応じ対応し失敗を減らすよう努めている。紙パンツ、パットの使用が減り皮膚疾患に繋がらない支援を心掛けている。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夏場は週6日間、冬場は週4日間入浴を実施している。入浴日に入浴を希望されない時には無理をせず翌日入浴していただく等本人の希望に添う支援をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調や希望に応じ対応している。快適に睡眠できるように室温、寝具調整、定期的なリネン交換を実施し天気の良い日には布団干しを行なっている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの潜在能力を活かせるよう役割をもった生活が出来るよう努めている。炊事、洗濯、掃除、花の手入れ、外掃など職員と一緒にいる、毎日の食事のお品書きを日課にしている利用者もいる。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で現金を所持し管理している方もいるが全員が所持することは難しい。家族よりお小遣いを預かり職員で管理しノートに領収書を添付するようにしている。	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買物や本人の希望時に外出を行っている。事業所の中だけの生活ではストレスが溜まり精神的にも落ち着かれない方には外出の機会を増やす支援を行っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	一月一回のペースで外出、外食の機会を設けるようにしている。車で全員一緒に出掛け季節の花や催事など利用者の希望も参考にした外出を実施し、家族の参加も呼びかけている。また家族と外出、外食を定期的にされている方もいる。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自分で電話したり、職員が電話し用件を伝えたりしている。年賀状は本人直筆で書いて元気に過ごされていることをお伝えしている。遠く離れた家族からの手紙は何度も繰り返し読み大切にされている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	玄関は開放し外部の方々が訪問しやすい環境にしている。訪問時間に決まりはなく、何時でも訪問して頂ける。本人の居室で気兼ねなく会話されている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修を受けた職員が施設内で発表し全職員が理解できるよう努めている。身体拘束をしないケアを実践している。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、日中玄関の鍵をかけることはしていない。鍵をかけないケアは実践している。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室内で過ごされている時は、プライバシーに配慮した見守りを実施し、少しの物音でも訪室し様子観察を行っている。また所在や様子を把握することで安全に生活できるよう配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	安全な導線の確保には努めているが物品を取り除くことはしていない。利用者の行動を把握し危険を防止するよう努めている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット、事故報告書を活用し再発防止策を他職員と考えることで取り組んでいるが、勉強会が必要な時には専門職に依頼し知識を学んでいる。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急講習を全職員が受講している。また、応急手当の方法は看護師から指導を受け対応している。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害などに対応できるよう職員連絡網を作成し、定期的な避難訓練を実施している。地域の避難場所マップをわかりやすい場所に掲示し、近所の方々にも協力を働きかけている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	状態を報告することで起こり得るリスクについても説明している。リスクを防止することが抑圧感に繋がらないよう努めている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調変化に気付く為バイタル測定、排尿、排便観察などを実施している。異変を発見した時には職員、他職種との連携を図るなどし対応するよう努めている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個人ファイルに薬の情報も入っており職員が把握できる状態にしている。薬の変更時には必ず全職員に情報を伝達し理解できるよう努めている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	適度な運動と水分摂取に努めているが、排便が無い時には飲むヨーグルトなどの摂取により状態を観察し出来るだけ下剤を服用しない方法を考え取り組んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、夕食後は必ず口腔ケアを実施している。また、自分で口腔ケアを希望される方は毎食後実施し、誤嚥性肺炎の既往歴がある方は職員が口腔ケアを実施している。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は栄養バランスを考えた献立作りを行い、水分摂取は一日を通じた水分量のチェックを実施している。水分摂取が難しい方には水分にトロミをつけたり、ゼリーを作り対応している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	看護師による感染症についての勉強会を実施し予防、対応について学び実施している。手洗いの励行と床、拭き掃除には漂白剤希釈水を使用しペーパータオル、使い捨て手袋を使用感染の予防に努めている。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具は食器乾燥機を使用し乾燥、まな板、布巾は毎日消毒をしている。安全な食材提供のため、賞味期限の厳守と週2回の買物で食材を確保し安全な食事の提供に努めている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりに沢山の花や植物を植え緑を配置することで家庭的な雰囲気を出し、親しみやすい心がけている。また、外掃除を実施し建物周囲の美化に取り組んでいる。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音に対し敏感な利用者に配慮し不快な音をたてない様努めている。また、レースのカーテン使用で直射日光を遮り心地よい環境作りを行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングと食堂が同じ空間に並んでいるためソファに座ったり食事の席でゆっくりしたり利用者が過ごしやすい場所を選ばれている。居室で過ごされている方の所へ訪室し会話されている方もいる。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込まれたり家族が本人の希望を聞き購入し生活されている。本人が使いやすいよう家族が配置を行い職員で安全の確認を行っている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冷暖房使用時にも空気の入れ替えは実施し換気に努めている。温度調節は利用者が適温と感じられる温度に設定しこまめな調節を行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87～89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺、スロープ設置を行い自立でも安全に歩行でき、車椅子使用できる通路の広さを確保している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、風呂場は大きく掲示することで場所の確認ができるようにしている。居室入り口には名札を下げ混乱を防ぐ工夫をしている。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	駐車場では夏祭りを開催し地域の人との交流を図り、季節ごとにプランターの花を植え替えるなどして建物の外でも利用者が楽しく生活できるように考えている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。